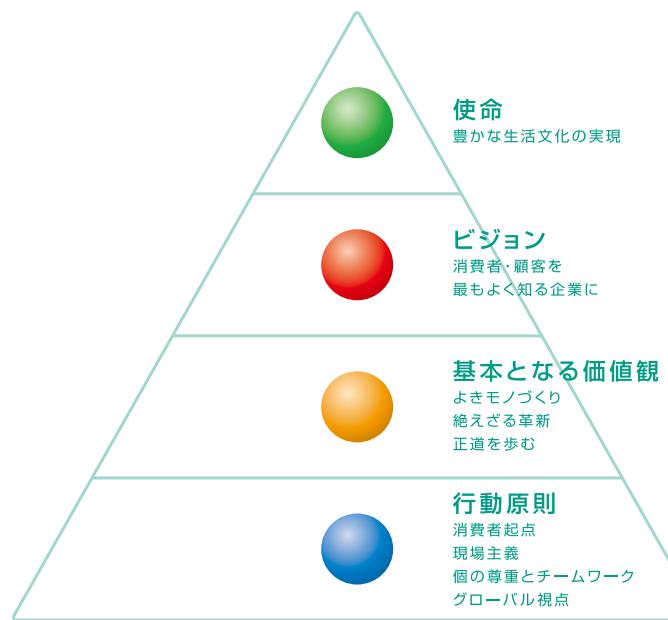


花王の価値創造を支える礎

花王ウェイ



使命

消費者・顧客の立場に立った心をこめた“よきモノづくり”により世界の人々の喜びと満足のある豊かな生活文化を実現するとともに、社会のサステナビリティ（持続可能性）に貢献することが使命です。

花王ウェイの源は、花王の創業者長瀬富郎に求めることができます。1887年、長瀬富郎は洋小間物商「長瀬商店」を創業しました。「花王石鹼」を発売したのは、その3年後の1890年のことです。その目標は、質の悪い国産石けんか、高価な輸入石けんしかなかった当時、品質が高く、なおかつ買い求めやすい価格の化粧石鹼を世に送り出し、当時の人々の清潔で快適な生活に貢献することになりました。“人々の豊かな生活文化の実現に貢献する”という花王の「使命」の原点はここにあります。

『花王らしさ』の基本となる価値観

3つの「基本となる価値観」とは、「私たちは何を大切に考えるのか」を表したもので。この価値観にそぐわない事業や行動は行いません。「正道」に立脚した「絶えざる革新」や「よきモノづくり」を行なうことを花王は一番大切にしており、これが花王らしさの基本となっています。

よきモノづくり

「よきモノづくり」とは、消費者のニーズを見極め、独創的なシーズと組み合わせて革新的な商品とブランドを開発することです。全社員、全部門の創造性と力を結集します。よきモノづくりの推進力は、私たち一人ひとりの熱意であり、これこそが花王の強さの源です。よきモノづくりを通じて得た利益は、さらに価値のある商品とブランドの創造に投じます。このよきモノづくりのサイクルにより、すべてのステークホルダーの支持と信頼を得て、利益ある成長を達成します。

絶えざる革新

「絶えざる革新」とは、消費者の暮らしや事業環境の変化を機敏に感じ取り、商品と仕事の改善、革新を推進することです。常に健全な危機意識を持ち、新たな発展と挑戦の機会を求めて、たゆまぬ前進を続けます。危機や困難を自己革新のチャンスととらえ、それを乗り越えることで個人と会社のさらなる成長を達成します。

正道を歩む

「正道を歩む」とは、互いに敬意と公正さを持って接し、誠実、勤勉をこころがけ、組織ならびに個人として成果を高めるように努めることです。法と倫理に則って行動し、健全で実直な事業活動によって、すべてのステークホルダーの支持と信頼に応えます。商品と事業活動における安全性を確保するとともに、環境をはじめとする社会的課題の解決に取り組み、社会への責任を全うします。